

2020 年 11 月 27 日

各 位

オリックス銀行株式会社

オリックス銀行本社を実質再エネ化 ～年間 294 トンの CO₂ 排出を削減～

オリックス銀行株式会社（本社：東京都港区、社長：錦織 雄一）は、このたび、本社ビルで使用するすべての電力を 100%再生可能エネルギー由来の電力に切り替えましたのでお知らせします。

オリックス銀行は、東京都港区の本社事務所で使用する電力の全量を、非化石証書付き再生可能エネルギー由来の電力へ切り替えることで、本社の実質再エネ化を実現しました。本件は、オリックスグループが運営する木質バイオマス専焼発電所の再エネ価値を証書化した「トラッキング付非化石証書」を活用した電力を、電力小売り事業者としてのオリックス株式会社から供給を受ける取り組みです。

本取組により、年間約 294 トンの CO₂ 排出量の削減を見込み、これは杉の木約 21,000 本が 1 年間に吸収する CO₂^{※1}に相当します。

オリックスグループは、2019 年 11 月に「オリックスグループ サステナビリティポリシー」を制定し、事業活動が環境へ及ぼす影響を把握し環境負荷低減に努めることを定めました。2020 年 10 月には「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言^{※2}に賛同を表明するなど、サステナビリティ活動を推進しています。

今後もオリックス銀行は、事業を通じて社会に貢献することで持続的な成長を実現し、社会的な責任を果たしてまいります。

【対象物件】

ビル名称	オリックス乾ビル
住所	東京都港区芝 3-22-8
入居フロア	2 階、9～12 階 (1 階、3 階～8 階はオリックス自動車が入居)
CO ₂ 排出削減量 (見込み)	約 294 t-CO ₂ /年 ※オリックス自動車の削減見込み量(約 852 t-CO ₂ /年)と合わせて、合計 約 1,146 t-CO ₂ /年

※本件と同時に、オリックス自動車の本社も同様に実質再エネ化を行いました。



オリックス乾ビル
(オリックス銀行本社)

※1 杉の木は年間約 14kg-CO₂/本の CO₂ を吸収（出典：環境省/林野庁）

※2 企業などに対し、気候変動関連リスクおよび機会に関するガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標について開示することを推奨。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

オリックス銀行株式会社 経営企画部 高橋・船山 TEL : 03-6722-3630